

# 🐒・・・猿島でゆったいと遊ぼう・・・🚢

日時:2019年7月3日(水) 天候:曇り 7500歩 約5km

集合:京急横須賀中央駅 10時

コース:横須賀中央駅→三笠公園→猿島→三笠公園・戦艦三笠→ヨコスカ・ポートマーケット→横須賀中央駅

参加者:平嶋(L) 高橋文(SL)

熊坂 伊藤真 青松 佐藤繁 小林 小島 福士 山川 平林勝 志村 加納喜 中林 長廣 赤須 高橋友 内海  
大川 飯田一 原田 /一般:中谷 堀内 稲垣 金川 青木 計26名

毎年7月2日頃は「半夏生」と言うそうで、昔の人が農作業の目安にした季節区分。この頃に降る雨を「半夏雨」と言い大雨になることが多いそうですが、この日は蒸し暑く曇り空も幸い雨は降らず、猿島を後にする頃には逆に空が明るくなりました。

この島は東京湾で唯一の自然島。伝説では建長5年5月、房州から鎌倉へと船で向かっていた日蓮は、嵐にあつて前が全然見えず、一心にお経を唱えていると、白い猿があらわれて島へ導いてくれた。それで猿島になったとのこと。(納得！)

三笠公園から僅か10分の船旅ですが、周囲1.6km程の島内は未だ自然が残る緑豊かな場所で、縄文・弥生時代の土器や石器も見つかっており歴史は古い。戦前は旧陸海軍の要塞で立ち入り禁止の場所でしたが、現在は国史跡として保存され、年間10万人以上が訪れるレジャーアイランドとなっています。またこの島の展望台は、かつて仮面ライダーのショッカー基地として撮影が行われたことで、ライダーファンには”聖地”として知る人ぞ知る場所・・・懐かしいですね！

そんな貴重な島に上陸した我々26名、果たしてどのように“ゆったり”としたのでしょうか？

<フォトレポート 小島>



上空から見た猿島の全景。栈橋からは遊歩道が整備され、旧陸海軍の要塞跡から日蓮洞窟方面まで歩けます。海拔は40m程も上り坂や急階段の箇所もあり、小さな島ですがそれなりに息が切れる。(元画像はWebサイトより)



朝の京急横須賀中央駅。一般参加も5名います。



おや、幼児も一緒？（実は熊坂さんのお孫さんでした）



全員が揃ったので出発です。もうすでに蒸し暑い！



横須賀の街を行く御一行。平日でまだ人通りも少ない。



目指す三笠公園の手前には帆船のオブジェ（？）が。急ぎ足で確認出来ず・・・これ何？



三笠公園戦艦三笠の勇姿！



乗船場は左・・・何処行くの？



猿島航路の操舵室。(操船したい！)



出港前のワクワク感！ 二階デッキは満員です。



「隣のおじさん誰？」「お酒飲んでないから大丈夫よ」



出港です。目指す猿島は目と鼻の先に見えている。



島に近づくと干潮なのか岩礁帯が顔を出しています。



10分で猿島棧橋に到着。さあ、遊ぶぞ！？



棧橋の歓迎アーチ。イベントがあるようです。



猿島上陸の第一歩はまず集合写真から。“遠路はるばる” 来た甲斐があった皆さんの満足そうな顔？



本日のリーダーは平嶋さん。何して遊ぶのかな？



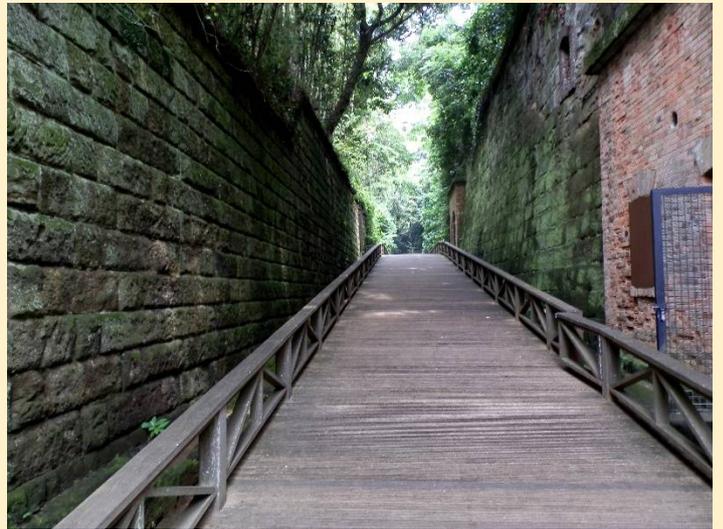
同じくSLの高橋文さん。(散々遊んだのもういい?)

### ■猿島の思い出■

私ごとですが、かつて大津沖でボート釣りをしていた時に、思い切って猿島まで漕いだことがあります。上陸してみると砂浜が一瞬二つに割れた！ よく見るとそれらはフナ虫の大群で、人間を見て群れがさっと左右に分かれたのでした。まるであのモーゼの奇跡のよう・・・？ ゴキブリに似た色と形の虫で、砂浜全体を覆っている光景は何とも不気味で、早々に島を後にしましたが、むろん手漕ぎボートでの猿島上陸は禁止。風が弱かったのでここぞと行ったわけですが、周辺は水深2m程の浅い岩礁地帯で、点在する砂地では大型のシロギスが結構釣れたものです。海でのボート釣りは40年以上やっており、突風や大波で危険な目には何度もあっているので、ボート漕ぎには今でも自信が有ります！ 広い海でボートを漕ぐのは気持ちの良いものですが、常に天候に注意し、風向きの急変と沖からの大きなウネリや暗礁等にも気を使わなければならない、全て自己責任の世界です。 でもここだけの話、実は全く泳げないんです！



集合時間と場所を決め各自で島内自由散策に出発です。中には平坦と思って参加した人もいましたが・・・



島内は殆ど一本道の往復。歩きやすく整備されている。両側には岩盤を切り開き造った旧陸海軍施設跡が残る。



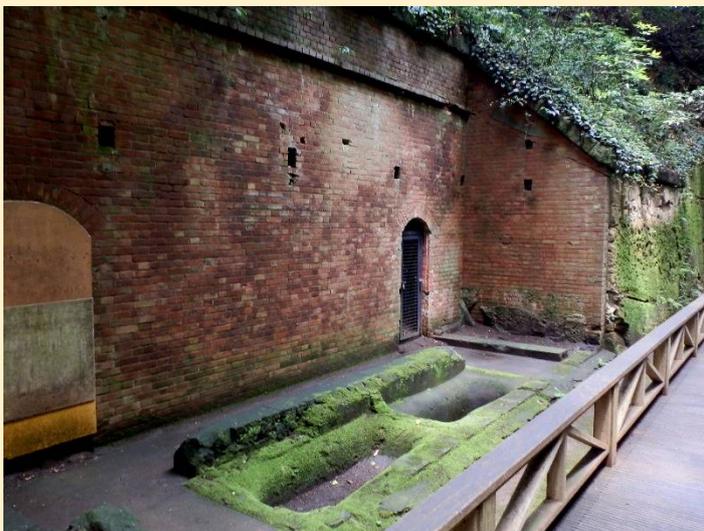
フランス積の煉瓦跡も。



ウッドデッキの散策路で安全。



苔むした階段。この先は何処へ？



岩盤をくり抜いて幾つもの壕が掘られていました。



こちらは弾薬庫。こんな中で湿気なかったのか？



最初のトンネル。入り口は苔むしている。



レンガ造りでは最も古いトンネルの一つ。



次のトンネルは短く明かりもなかった。



そこを抜けると砲台跡が。上空のB29を狙った？



日蓮洞窟へ下る急階段。海へ向かって真っ逆さま！



下では女性軍がお出迎え。もう見終わったの？



ここが日蓮洞窟（洞穴）。縄文・弥生～古墳時代の住居跡で、嵐に会った日蓮上人が辿り着いた場所とも。



■説明版によれば・・・洞穴内には貝塚も残され、火を炊いた跡も発見されている。貝塚からは、土器やシカの骨を材料とした釣り針やヤス先、人々が捕獲して食用とした貝や魚、鳥などの骨が出土している。これらの遺物を残した人々は、春から秋は岩場で貝類や海藻を採り、カサゴ・マダイ・クロダイなどの釣り漁や突き漁、秋から春はウミウ・ヒメウなどの鳥猟を行い、この洞穴を一年を通して利用していたと考えられる。また、江戸時代の貝塚も見つかっているそうです。

洞内は立ち入り禁止ですが、内部はかなり広く5～60人くらいは楽に寝泊り出来るかも！（でも何かいそうで・・・怖）



海上は波もなく全くの凪。沖のボートもゆったりと。



「オイモノ鼻」の岩場。ここも施設の跡が残っている。



オイモノ鼻広場で休憩！天気が良ければ絶景スポットなんですけど、霞んでいて残念でした。



ランチは展望台広場で。(そこショッカーの基地ですよ！)



他のグループも大勢来ましたが我々が先手！？



こちらは紅一点ならぬ黒一点？（そんな言葉なかったか）



それに対し、ここは真っ黒！（男は黙って食べるのだ）



昼時なので午前便の釣り船も帰港です。（釣果は？）



横須賀軍港の沖には駆逐艦？ それとも敷設艦か。



帰りは別コースをとる。



階段を上って棧橋方面へ向かう。



一旦上ってこれが最後の下りです。



ここにも広場が。杖を片手に画になるリーダー。



ボードデッキの手前に大きなフィギュアが。何？



こちらは生フィギュア？（ちょっと近すぎですよ～）



砂浜では貝拾い！夏はここが海水浴場に。



砂といえば映画「砂の女」を思い出す！（古）



遙か沖には巨大な運搬船が停泊。その近くはポイントなのか釣り船が五隻ほど見えます。（アジ釣りが）



離島前に猿島最後の集合写真。まん中のフィギュアは「ワンピース」の主人公モンキー・D・ルフィ。

### <ここでちょっとPRを・・・>

横須賀市および株式会社トライアングルは、大人気アニメ『ワンピース』とのコラボ企画として、2019年7月8日(月)から10月20日(日)まで、「宴島(うたげじま)2019 真夏のモンキー・D・ルフィ島」を開催。

これは、「音楽・スポーツ・エンターテイメント都市」を目指す横須賀市が横須賀・三浦半島を盛り上げるべく実現した企画で、アニメ『ワンピース』20周年、カレーの街よこすか20周年、京急電鉄創立120周年事業に合わせ、横須賀市および京急沿線を『ワンピース』にちなんで「宴」の舞台として実施するもの。

この中で「宴島2019」では、東京湾に浮かぶ唯一の自然島「猿島(さるしま)」が期間限定で『モンキー・D・ルフィ島(猿島)』に名称を変更。「麦わらの一味」が島を丸ごとジャックして「宴」を繰り広げます。

.....ということです！



栈橋で船を待つご一行。他のお客も大勢いますね。



♪さらば猿島よ、また来る日まで(ラバウルじゃない?)



短い時間ですが、船旅は何となく哀愁が漂いますね。



船上から見る戦艦三笠の全景。これでロシアと戦った！



三笠の前で最後の集合写真。当時ならばこんな近くには寄れなかったでしょうね。令和で良かった！  
(まだ時間が早いので、この後は買い物を兼ねてヨコスカ・ポートマーケットで解散となりました)

#### <今日の一言>

数十年ぶりの猿島でついでが入り、長めのレポートとなってしまいました！それにしても、東京湾内にこれだけ緑の多い島が残っているのは奇跡的です。この日はタイトル通り、皆さん十分ゆったりとされたようですが、夏休みを迎えるとこの島は一転して海水浴場に変身します。横須賀の市街地から至近距離にある猿島、今後も大切にしたいものですが、その裏ではゴミの一括収集で、島内各所をゴミ一つない環境に整えている、横須賀市の努力が感じられた“遊び疲れ”の一日でした。

なおリーダーはじめ皆さんには、三度も集合写真にご協力いただき有難うございました。

END